

農業農村工学会関東支部 2018年度 技術研修シンポジウム 「頻発する豪雨災害に立ち向かう」

開催趣旨

豪雨災害が頻発している。現在進行形の気候変動の影響から、今後も豪雨の頻発は継続あるいは加速することが懸念される。本シンポジウムでは下記内容の通り、豪雨による土砂災害、農地・農用施設の被災について、調査や復旧に携わってこられた研究者・技術者からの講演により、これら災害の特徴、背景と要因について理解を深める。その上で、豪雨災害に立ち向かうべく、地域特性に応じた農山村および基盤整備のあり方や防災・災害対策や復旧について総合的に議論する。

本シンポジウムはCPD認定プログラム（認定単位：3 CPD）です。

記

日時：2018年12月7日（金） 13時20分～16時10分

場所：東京大学農学部フードサイエンス棟 中島董一郎記念ホール

（キャンパスマップ <http://www.a.u-tokyo.ac.jp/campus/overview.html>）

参加費：1,000円（別途 情報交換会の参加は 2,500円）当日、受付にてお支払い下さい。

12:50 受付開始

13:20-13:30 開会挨拶および趣旨説明

13:30-14:15 招待講演「頻発する土砂災害に対して我々は何をするべきか」 堀田紀文 東京大学

頻発する豪雨による土砂災害が続いている。現在の土砂災害対策を概観したうえで、2013年に伊豆大島で発生した土砂災害の調査事例からその発生メカニズムに迫る。被害軽減のために我々が今後取るべき方策を考えたい。

14:15-15:00 招待講演「2011年紀伊半島大水害における農地・斜面災害とその後の取組み」

岡島賢治 三重大学

2011年台風12号により、紀伊半島では記録的な豪雨に見舞われた。この豪雨による、農地・農用施設や斜面の災害事例を紹介する。さらに、その素因と誘因を分析した。また、災害後、被災した地域で取組まれている防災の取組みを紹介する。

15:10-15:40 招待講演「農村地域の防災・減災対策及び災害復旧（農地防災事業・災害復旧事業の概要）」 中村恵一 農林水産省 関東農政局 農村振興部 防災課 課長補佐

近年頻発している集中豪雨や台風、大規模地震に伴い、農村地域においても農地及び農業用施設等にも被害が発生しています。こうした災害に対し、防災・減災対策として活用できる「農地防災事業」の事業内容及び復旧に関する制度として「災害復旧事業」の事業内容など概要を紹介。

15:40-16:10

総合討論

16:30-18:00

情報交換会

以上

【お問い合わせ】

農業農村工学会関東支部（担当）小林幹佳（筑波大学） kobayashi.moto.fp@u.tsukuba.ac.jp までお問い合わせ下さい。

【参加お申し込み】

2018年11月30日（金）までに申込サイト（<https://goo.gl/forms/cPi6JhVQ4BfgMMaE2>，右のQRコード）から手続きをして下さい。

